

2026年4月検針分 ANA ガス料金（東邦ガスエリア）のお知らせ

いつも「ANA ガス」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

原料費調整制度に基づき、従量料金単価が調整されます。従量料金単価の見直し内容及び2026年4月検針分に適用されるガス料金は以下のとおりとなりますので、ご案内申し上げます。なお、経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、6円/m³の値引きを適用しております。

【料金表（ANA ガス（東邦ガスエリア）（税込））】

	1カ月のガス使用量	基本料金(/月)	※単位料金(/月・m ³)	(参考) 補助金適用前単位料金(/月・m ³)	(参考) 2026年3月
A表	0m ³ から20m ³ まで	759円00銭	206円92銭	212円92銭	193円5銭
B表	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,588円88銭	165円43銭	171円43銭	151円56銭
C表	50m ³ をこえ100m ³ まで	1,833円33銭	160円54銭	166円54銭	146円67銭
D表	100m ³ をこえ250m ³ まで	2,077円77銭	158円10銭	164円10銭	144円23銭
E表	250m ³ をこえ500m ³ まで	2,648円14銭	155円81銭	161円81銭	141円94銭
F表	500m ³ をこえる場合	7,109円25銭	146円89銭	152円89銭	133円2銭

※ 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、6円/m³値引きされています。

【原料費調整制度について】

原料費調整単価 : ▲3.6 円/m³ 【税込】

原料価格算定期間 : 2025年11月 ~ 2026年1月

トン当たり原料価格 : 86,070 円/t 【税抜】

(トン当たり平均価格算定の前提となる LNG・LPG 輸入数量および輸入価格)

基準平均原料価格 (円)	83,350	
	LNG (円)	LPG (円)
2025年11月~2026年1月平均	85,940	81,040

▼トン当たり原料価格の算定 :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{トン当たり LNG 平均価格} \times 0.9576 + \text{トン当たり LPG 平均価格} \times 0.0466 \\ & = 85,940 \text{ 円/t} \times 0.9576 + 81,040 \text{ 円/t} \times 0.0466 \\ & \approx 86,070 \text{ 円/t} \quad (\text{1の位を四捨五入}) \end{aligned}$$

▼原料価格変動額の算定 :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{トン当たり原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ & = 86,070 \text{ 円/t} - 83,350 \text{ 円/t} = 2,720 \text{ 円/t} \\ & \approx 2,700 \text{ 円/t} \quad (\text{100円未満切捨}) \end{aligned}$$

▼原料費調整単価 (m³あたり調整額) の算定 (補助金定期用前) :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{原料価格変動額} \div 100 \times 0.081 \times 1.10 \text{ (税率)} \\ & = 2,700 \text{ 円/t} \div 100 \times 0.081 \times 1.10 \approx 2.40 \text{ 円/m}^3 \\ & (\text{調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げ}) \end{aligned}$$

▼原料費調整単価（m³あたり調整額）の算定（補助金定期用後）：

【計算根拠】

原料費調整単価（補助金適用前） - 6円

= 2.40円 - 6円 ≐ ▲3.6円/m³

（調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げ）

■原料費調整額とは…

ガスの原料（LNG〔液化天然ガス〕・LPG〔液化石油ガス〕）の価格変動をガス料金に迅速に反映させるため、その変動に応じて、毎月自動的にガス料金を調整する制度を「原料費調整制度」といい、そこで調整される金額が「原料費調整額」になります。

■「電気・ガス料金負担軽減支援事業」について…

詳細は、経済産業省資源エネルギー庁 HP (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>) をご覧ください。